



<教育目標>

英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

平成 28 年 10 月 31 日発行

No. 9 校長 矢口 仁

中野中学校だより

シナジーを期待する - 合唱コンクールに向けて - 校長 矢口 仁

ふたば三葉散りて日暮るる紅葉かな 与謝蕪村

秋が急激に深まってきました。紅葉が美しい季節の到来です。読書の秋、スポーツの秋・そして、『芸術の秋』にふさわしい合唱コンクールが明日、杉並公会堂で開催されます。各学級の努力の結晶である歌声を楽しみにしています。



私はスティーブン・R・コヴィー氏の著作『7つの習慣』をよく読み返します。その本には、自分を高めつつ、人とのよりよい関係を築くためにはどうしたらよいかということがわかりやすく書いてあるからです。その中の六番目の大切な習慣が『シナジー（相乗効果）を創り出す』というものです。本文には次のようにあります。

「シナジーとは、簡単に言えば、全体の合計は個々の部分の総和よりも大きくなるということである。各部分の関係自体が、一つの部分として存在するからである。」

リオ五輪で、陸上 400m男子リレーが2位になった例がわかりやすいと思います。10秒で走る4人のランナーの関係が非常にうまくいくと、37秒6で走れるということです。（これは総和が小さくなっていますが、よい方向に広がるという意味です。）

さて、合唱コンクールは30人以上が歌声を調和させ、一人ではできないハーモニーを創りあげるものです。人数が多いし、一人一人個性や特性が違う集団をまとめあげなくてはならないので、非常に難しいものだと思います。指揮者や伴奏者、パートリーダーの役割も重要です。それぞれのパートのまとまりがないと、全体ではまとまりきれないからです。

私が担任をしていた時、練習を重ねていくにつれ、意見が衝突し合うことが時々ありました。男子と女子、パートとパートが批判しあい、これで本番は大丈夫か？と思うほどのこともありました。しかし、最終的には話し合ったり、練習を繰り返したりして、当日を迎えることができました。結果はともかく、成就感がありました。

大切なことは、自分にできることを精一杯やることとお互いの立場を理解する努力だと思います。また、クラスの目標を立てた以上、それに向けて気持ちを同じ方向へ向けていくことだと思います。そのような中から、シナジーが生まれます。

今年のスローガンは『僕らの想いを1つの音に ~con sentimento~』です。サブタイトルは「感情を込めて」という音楽用語だそうです。音楽に心がこもり、心がつになった各学級のハーモニーを楽しみにしています。